



広報

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま

5

2015(平成27年)
No. 514

今月の主な内容

町当初予算の概要	②～③
復興拠点整備計画の紹介	④～⑤
まちの話 題	⑧～⑩
おおくま定点観測	⑪
KIZUNA おおくまふれあい通信	⑫～⑮
お知らせ	⑯～⑳

満開

— 坂下ダムで桜見ごろ —

一般会計

167億4,000万円

特別会計

38億9,553万円

大熊町当初予算の概要

特別会計

単位：千円

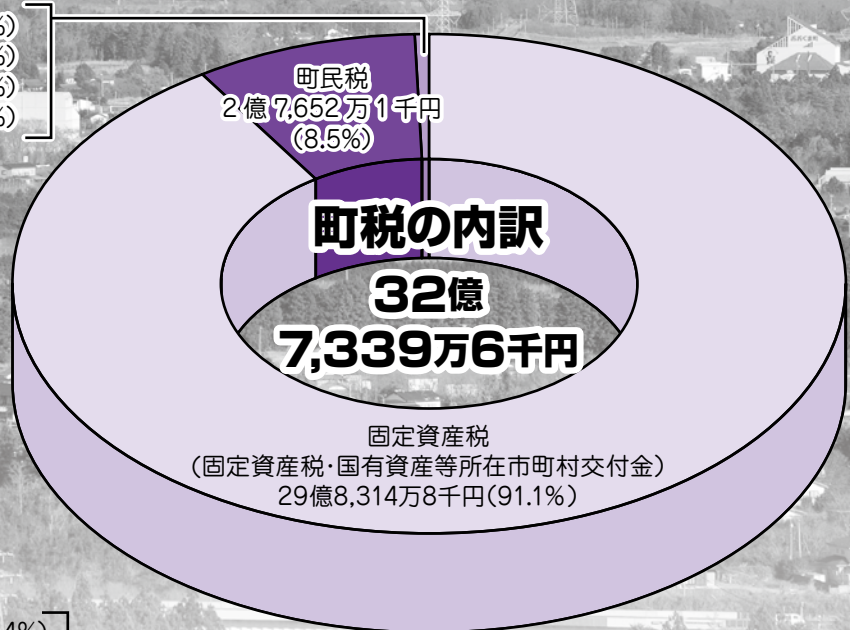
*坂下ダム施設管理事業	63,000
*国民健康保険	2,576,760
*奨学資金貸与	14,703
*地域下水道事業	1,940
*特定環境保全公共下水道事業	263
*農業集落排水事業	151
*住宅団地造成事業	50
*工業団地造成事業	50
*中央台霊園管理事業	355
*介護保険事業	1,214,256
*後期高齢者医療	24,001
	3,895,529

平成27年度の大熊町一般会計当初予算は、3月に開催された第1回大熊町議会定例会で可決され、町の当初予算としては、過去最大の歳入歳出総額167億4000万円と決まりました。

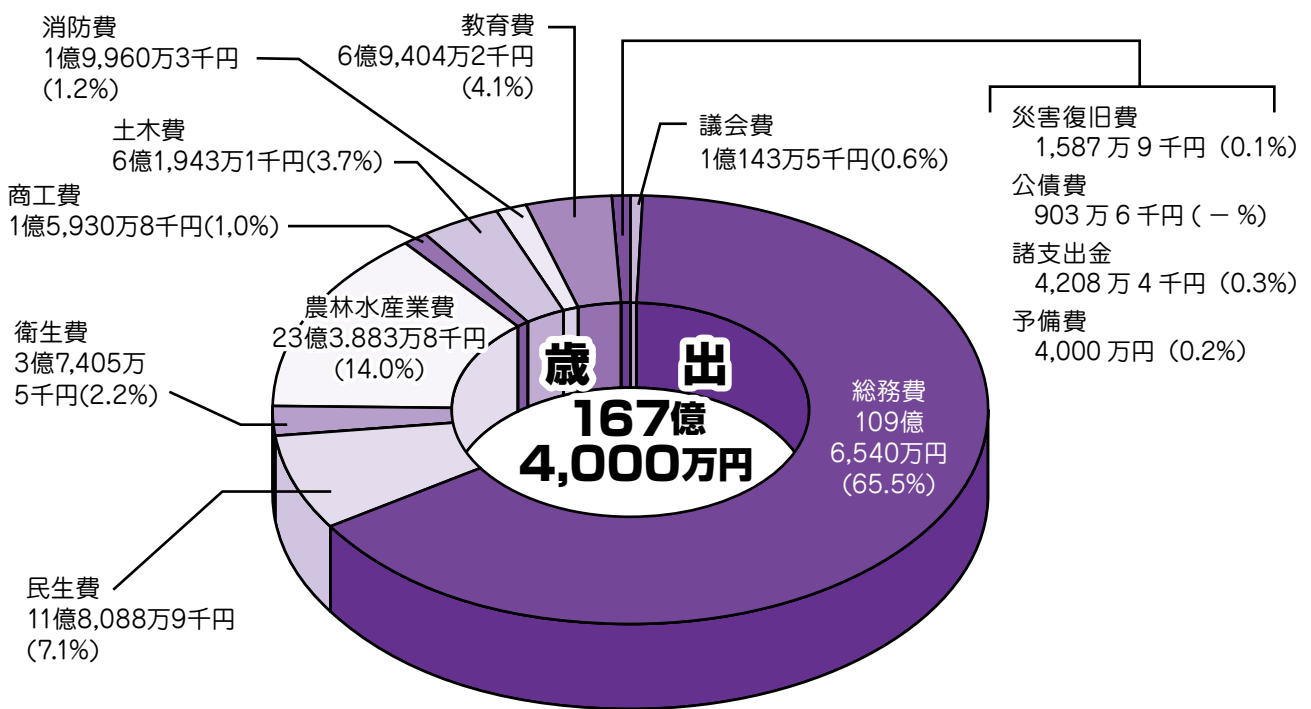
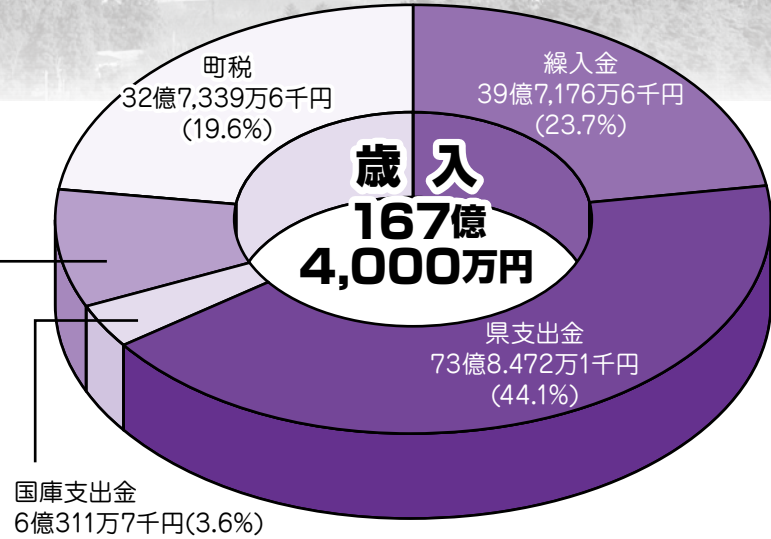
今年度は、中間貯蔵施設対策事業、栽培施設等整備事業、防犯対策事業、ICT活用事業、復興拠点整備事業等、防犯対策や町の復旧・復興、絆づくりのための事業に取り組みます。

また、特別会計総額は、38億9553万円となっており、避難生活、住民福祉等の向上を目指した予算編成になっております。

軽自動車税	1,372万3千円(0.4%)
入湯税	1千円(-%)
特別土地保有税	2千円(-%)
市町村たばこ税	1千円(-%)



地方譲与税	58,001千円(0.4%)
地方消費税交付金	221,000千円(1.3%)
利子割交付金	2,000千円(-%)
配当割交付金	3,100千円(-%)
株式等譲渡所得割交付金	10,000千円(0.1%)
自動車取得税交付金	8,000千円(0.1%)
地方特例交付金	2,100千円(-%)
地方交付税	1,000,001千円(6.0%)
交通安全対策特別交付金	500千円(-%)
分担金及び負担金	6,446千円(-%)
使用料及び手数料	2,080千円(-%)
財産収入	22,287千円(0.1%)
寄附金	205千円(-%)
繰越金	1千円(-%)
諸収入	171,278千円(1.0%)
町債	1千円(-%)



大川原の整備計画を紹介します

町が町内復興拠点と位置付けている大川原地区の整備計画について、3月28、29の両日に地元住民を対象とした説明会が開かれました。昨年の説明会時点より具体的な計画となり、各エリアのイメージを分かりやすく図示しました。町は平成30年度を目標に、大川原地区の復興拠点に「住める環境」の整備を目指します。

住民意向調査の結果から、早期の帰町を望む町民は高齢者が中心であることを把握しています。このため復興拠点内の住環境については、高齢者が生活しやすく安心して過ごせる設備やサービスを充実させていくことを目指します。併せて、除染や発電所の廃炉に携わる国内外の研究者、作業員向けの集合住宅等も建設し、新たな住民との調和の取れたまちづくりを行っていきます。一方、様々な理由により町外へ生活拠点を移された方で、将来帰町を希望する方の住宅確保についても検討していきます。

防災面については、発電所の廃炉作業が長期間にわたることが予測されるため、万が一の原子力災害時に対応可能な設備やヘリポート等を兼ね備えた防災施設を復興拠点内に設置します。

行政サービス施設や医療・福祉・商業施設、町内外の町民や研究者等の交流を促進するコンベンション施設等の立地を図り、住民の生活を支え、町の賑わいを創出するとともに、防災施設の立地により防災機能の強化を図ります。

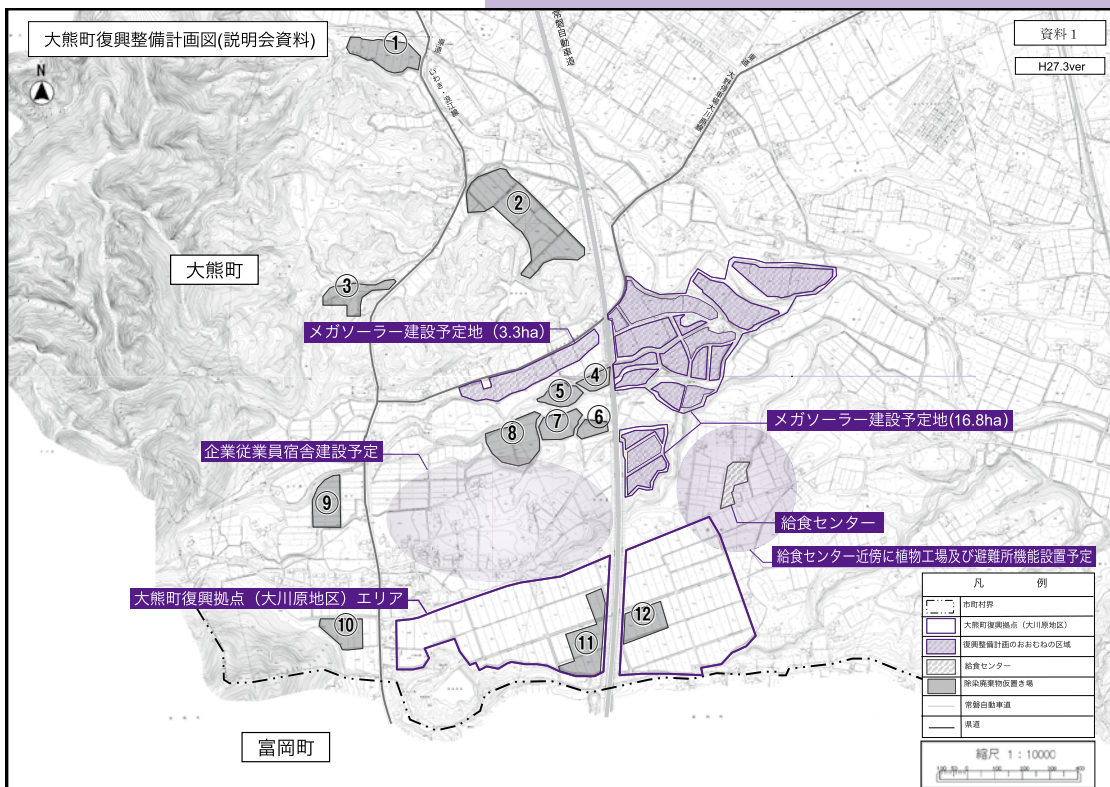


■産業・研究、業務施設エリアイメージ



ハイタッチ・リサーチパーク
(関西文化学術研究都市)

周辺の自然環境や住環境に配慮し、敷地内の緑化や再生可能エネルギーの導入等を誘導しながら、国内外の英知が結集した除染・廃炉、環境に係る研究施設や、国・県・企業等の事務所の立地を図ります。



大熊町復興拠点（大川原地区） 整備イメージ図(案)

■戸建住宅エリアイメージ



播磨科学公園都市 光都 21

(出典：住宅地・設計事例集、建築資料研究社)を創出します。

通過交通を排除した安全な生活道路や公園を配置するとともに、居住者、来訪者の利便性やコミュニティの維持、形成のしやすさを考慮した整形な街区、敷地形状としました。また1区画100坪程度の敷地規模が設置可能となるような大きさとし、周辺の自然環境や既存集落と調和した緑豊かな良好な住環境

■商業・公益施設エリアイメージ



インターパーク宇都宮南



おゆみ野地区

■コミュニティ軸

地区の主要施設や公園とネットワークしながら地区東西を結ぶとともに、既存集落に続く主要生活動線を配置し、コミュニティ軸を形成します。

■近隣公園イメージ



柏崎駅前地区

緑豊かで広々とした空間を整備し、住民の交流や憩いの場を創出するとともに、公園内の広場は、祭りや周辺施設と連携したイベント等に活用していきます。また、災害時には避難場所としての機能を担います。

■集合住宅エリアイメージ



奈良学園前・鶴舞

高齢者住宅を含む復興公営住宅や、研究者や作業員向け簡易集合住宅、ゲストハウスなど様々なタイプの中低層集合住宅を整備し、多様な居住ニーズに対応するとともに、コミュニティの維持、形成や安全を考慮したまとまりのある街区を形成します。敷地内には、頭森公園に続く散策路や広場、緑地、集会所等を配置し良好な住環境を創出します。

大川原ではほかに、福島給食センターの近くに自然災害や原発でのトラブルに備えた避難所機能の設置を検討しています。東京電力福島第一原発の廃炉に携わり、町内に事務所を開設したい企業の協力を得て、事務所に避難所機能を持たせたいと考えています。これにより、町内に立ち入る町民の安全確保を図ります。

給食センター付近では植物工場も稼働させます。屋外の環境の影響を受けない完全密封型で、光や温度、湿度、養分などを制御。年間を通じて安定的に出荷が可能な施設です。植物工場の運営により、雇用の場の創出や町への愛着の維持などを図る考えです。

太陽光発電は西平の農地約3・3ヘクタールに加え、西平と南平の農地約17ヘクタールでも実施を検討しています。事業は20年間行った後、農地として地権者に返すことにしています。

復興拠点計画地の北側のエリアには、廃炉に携わる企業の社員向け社宅750戸の建設が計画されています。

給食センター大熊で稼働



東京電力福島第一原発の作業員に給食を提供する福島給食センターが3月31日、大熊町大川原字南平に開所しました。厳しい作業が続く現場に1日3000食の温かい食事を届け、事故収束に向けた作業環境の改善を図る施設です。最新設備を整えたセンター内部を紹介しましょう。

①加熱調理室。IH加熱器、釜など3000食分をまかなうための大型の機材が並んでいる。②全自動でコメを炊く機械のライン。コメ、野菜などの食材は、できる限り県内産を使うという。③従業員が作業前に入るエアシャワー。建物は外から来る運転手が調理スペースに入らない造りになっている。食材は下処理の前後、冷凍室に保管するなど衛生面に細心の注意が払われている。④オープンは上段と下段で「煮る」「焼く」の調理を別々に行える。⑤洗浄室は食器や容器によって4つのラインに分けてある



名称…福島給食センター
構造…鉄骨造

階数…地上2階
敷地面積…約10000㎡

延床面積…約3500㎡

大熊中だより、年間100号

大熊中の校長室通信「大熊中学校だより」は平成26年度、通算発行数100号を達成しました。

大熊中学校だよりは、古里を離れても元気に学校生活を送る生徒の姿を伝え、保護者に安心してもらおうとともに、地元会津や全国の支援者に学校での取り組みを紹介する目的で、小野田敏之校長が赴任した平成24年度にスタートしました。同年度と翌年度はそれぞれ70号を発行。26年度は昨秋70号に到達したため、次の節目として100号を目標とし、今年3月20日の最終号で達成しました。

の方などに合計100部余りを用意します。週2回以上の発行や、1度に2種類発行することもありません。行事が行われてから、あまり遅くならないうちに紹介するよう心掛けています。

小野田校長は「避難生活の中でも、生徒はきちんと成長しています。紙

面づくりは半分趣味のよなものですが、紙面を通じて生徒と対話をしていけるような気持ちにもなれます。新年度は100号にこだわらず、読まれるように内容を工夫したいです」と話しています。



年間100号に達した「大熊中学校だより」を振り返る小野田校長（右は100号が記された題字と愛用のカメラ）

竹下復興大臣と町長が意見交換

竹下亘復興大臣は3月29日、大熊町役場会津若松出張所を訪れ、渡辺利綱町長と意見交換しました。竹下大臣は「大川原地区に拠点を造るといふ大熊町の思いを真正面から受け止め、法改正など皆さんと一緒に思いで取り組んでいきたい」と話しました。渡辺町長は「復興に向けて光が見えてきた実感がある。今年こそ正念場」と述べました。町側は町内の常磐道への復興インター整備や中間貯蔵施設への搬入専用道路の整備などを求めました。



渡辺町長の話に耳を傾ける竹下大臣（右）



転出、退職する町の教職員

町立小中の教職員20人が離任

平成26年度末の人事異動で熊町、大野両小と大熊中を転出、退職する教職員の離任式は3月26日、町役場会津若松出張所で行われました。今回の対象者は熊町小7人、大野小5人、大熊中8人で、末永幸弘熊町小学校長と八島真理子大熊中教諭は定年退職。式で武内敏英教育長は「町の子どものため本当によくやってくれました」と感謝しました。対象者を代表して斎藤淳大熊中教頭が「数多くの学んだことを赴任先で生かしたい」と述べました。

町立小中教職員の着任式

大熊町立の小中学校に赴任する教職員の着任式は4月1日、町役場会津若松出張所で行われました。着任するのは熊町小3人、大野小3人、大熊中6人の合わせて12人。式では武内敏英教育長が「古里を失った子どもたちに質の高い教育で応えてほしい」と述べました。渡辺利綱町長、嶋貫光喜教育委員長があいさつ。熊町小の堀本晋一郎校長が「少人数教育のよさを生かし、激動の時代を生きる力を養いたい」と抱負を述べました。



新任地での決意を新たにする教職員

春休みの学習、東大生がアドバイス

春休みの大熊中生に現役東大生が勉強を教える学習会は3月25日から3日間、会津若松市の大熊中で開かれました。毎年、長期休暇期間中に開かれており、今回は1年生から4年生まで男女9人の東大生が訪れました。生徒は、持参した学校や塾の宿題に取り組み、分からないところを東大生に尋ねました。息抜きの間には近くの体育館でバスケットボールやバドミントンを楽しむなど、学生と生徒はすっかり打ち解けていました。



東大生のアドバイスを受けて学習する中学生

町民37人集い浜通り北部交流会



和やかな雰囲気だった交流会

浜通り北部に暮らす大熊町民の交流会が4月12日、南相馬市のひがし生涯学習センターで開かれました。南相馬市、相馬市、新地町で暮らす方を中心に37人が参加し、新しい出合いや再会を喜び合いながら近況報告や地域の話で盛り上がりました。終始和やかなムードの中、朗らかな笑い声があちこちから聞こえる楽しい会になりました。町民同士での今後の交流について考える時間も持ち、町民同士のつながりについて話し合いました。

三角ちまきに挑戦～梨の実サロン平～



三角ちまきづくりで交流した参加者

「梨の実サロン平で三角ちまきをつくろう！」は4月11日、いわき市の梨の実サロン平で開かれました。町復興支援員が企画し、子どもを含む町民28人が参加しました。新潟県の郷土食・三角ちまきを、協力し合い、試行錯誤を繰り返しながらつくりました。完成したちまきを煮ている間は楽しみに話しながら出来上がりを待ちました。ちまきは、参加者が家族のために持ち帰りました。交流会を通じ、幅広い年齢層の参加者が親睦を深め合いました。

林家たい平師匠、仮設住民と交流



たい平師匠と記念撮影する住民

「笑点」でおなじみの落語家・林家たい平師匠は4月5日、会津若松市の扇町一号公園仮設住宅を訪れ、住民と交流しました。市内で開かれる公演の直前に訪問してくださいました。たい平師匠は「福島の方を笑いで元気にしたい」と訴え、軽妙なお話しで住民を楽しませました。気軽にサインの求めに応じたり記念撮影に収まったりと、住民とふれあう時間も設け、和やかな雰囲気の中、笑顔で会場を後にしました。

野村総研が電子黒板を寄贈



電子黒板を寄贈した野村総研の関係者ら

町の復興計画策定に携わる野村総合研究所は4月7日、町教育委員会に電子黒板2基を寄贈してくださいました。今後、熊町小、大野小の授業で活用されます。業務で不要になった書籍を売却し、利益を「人づくり」に生かす同社の社会貢献活動の一環で、立松博史執行役員コンサルティング事業本部副本部長らが町役場会津若松出張所を訪れ、武内敏英教育長に目録を手渡しました。武内教育長は「主体性を育てる教育に生かしたい」と感謝しました。

町制 60 周年で乙武さんが記念講演

大熊町制施行60周年記念講演会は3月28日、いわき市のいわきワシントンホテル椿山荘で開かれ、ベストセラー「五体不満足」の著者である乙武洋匡さんが講演しました。町民約120人が参加。乙武さんは「みんなちがって、みんないい」と題し、これまでの体験を前向きに、ユーモアたっぷりに紹介しました。質疑応答では質問一つ一つに飾らず、丁寧に答えてくれました。町民の皆さんは話じつくり聞き入り、会場は笑い声が絶えませんでした。



講演する乙武さん



寄せ書きを届けた四辻さん（左）

復興応援の寄せ書きいただきました

宇都宮市の中学校教諭四辻隆志さんは3月25日、大熊の復興を応援する寄せ書き入りの国旗を町に寄贈してくださいました。市民ランナーの四辻さんは全国のマラソン大会で本県の被災自治体を応援するメッセージを集めており、これまでに伊達市、飯舘村、浪江町に国旗を寄贈しています。今回は大熊町のため10の大会で出場者やスタッフらに協力を求め、マラソン解説者増田明美さんや清水敏男いわき市長ら約100人から応援が寄せられました。

復興支援員に阿部さん、山本さん

町復興支援員に阿部紗也加さん、山本郁里さんが加わり、4月10日、町役場会津若松出張所で委嘱状が交付されました。阿部さんは相馬市出身で、会津若松出張所でコールセンター業務と動画取材に携わります。「町民からの声を聞かせていただきます」と述べました。富山県の出身の山本さんは、いわき出張所で動画取材を中心に取り組みます。「町民の笑顔を引き出し、多くの人に伝えたい」と語りました。2人の委嘱期間は来年3月31日まで。



復興支援員を務める阿部さん（右）と山本さん



競技が中止されても楽しく過ごした参加者

パークゴルフ中止、代わりに親睦会

おおくまパークゴルフ協会創立10周年記念大会は4月8日、広野町の二ツ沼総合公園パークゴルフ場で開かれる予定でしたが、雪のため中止されました。代替開催はありません。当日は県内外から113人が集まりましたが、競技できるグラウンド状態にないため中止が決定されると、残念そうな表情でした。代わりに会場で親睦会を開き、用意していた賞品が当たる抽選会などで盛り上がりました。



おおくま 定点観測

～町役場屋上から～

町内の様子を
特定の撮影場所から
毎月写真で紹介しま
す。今回は町役場屋
上からの風景です。



4月16日、町役場の屋上から撮影しました。1月14日にも屋上に登りましたが、今回は初夏のような暖かさで、防護服を着ていると汗ばむほどでした。屋上から見える桜は見ごろを過ぎ、鮮やかな葉をのぞかせていました。白い花が満開に咲いている梨畑がありました。霧がかかっているのか、遠くの山々はかすんで見えました。



KIZUNA おおくまふれあい通信

第25号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



田植え体験



ゲートボール大会



サツマイモの苗植え

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 いわき市

いけだ まさのり
池田 政典 さん

自宅は下野上2区。浪江町内の自動車教習所に指導員として勤務する傍ら、町消防団副団長を務めている。

現在、いわき市内の借り上げ住宅で生活しながら、当面の生活拠点を確保するために、本格的な準備を始めた。



23歳で町消防団に入団し、第9分団長等を経て、現在、消防団副団長を務めています。私はふたば自動車学校（浪江町）で指導員として勤務しています。子どもの頃から車やバイクが好きだったため、高校卒業後、浪江町内の運送会社で車両整備の仕事に就いていました。そうした中、父の友人であった現勤務先の先代社長から声を掛けられたことがきっかけで、今の職場に移りました。震災発生の前年には定年を迎え、雇用延長制度により仕事を続けています。

震災発生当時、私の仕事は「書き入れ時」を迎えていました。当時は3月上旬で、高校を卒業したばかりの方や春休み中の大学生など、自動車学校業界は繁忙期となっていました。地震が起きた時は、ちょうど休憩時間中でしたが、地震の発生と大津波警報の発表により教習は中止され、私は教習生を自宅まで送り届けるために出かけました。その教習生の中には熊川区に自宅がある方がおりましたが、大津波の襲来で同地区に近づくことはできませんでした。後日、その方の家族が無事だったことを知った時は、ほっとしました。

被災翌朝以降、町民の避難誘導や田村市内に設営された避難所の運営等では、団員が町民の皆さんの安全を第一に考え、昼夜を問わず一生懸命に活動してくれたことに頭が下がる思いです。

被災から4年以上経過した現在もなお町に帰還できる見通しが立たない中、町全域が避難区域となり、立ち入りが制限されていることに伴い、消防団が日常的な活動を行うことができませんが、年2回行われていた検閲式を年1回にしたり、ポンプ等の装備点検の回数を減らすなど、最小限の活動は継続しています。そうした活動の際、遠方の避難先から駆け付けてくれる団員の姿に、故郷を思う気持ちを改めて感じさせられるところです。また、偶然ではありませんが、団長は町役場がある会津若松市に、副団長の私は多くの町民が身を寄せているいわき市内で生活しています。消防団関係の行事は前記2市のいずれかで開催されることが多いため、団長と分担して活動することになります。

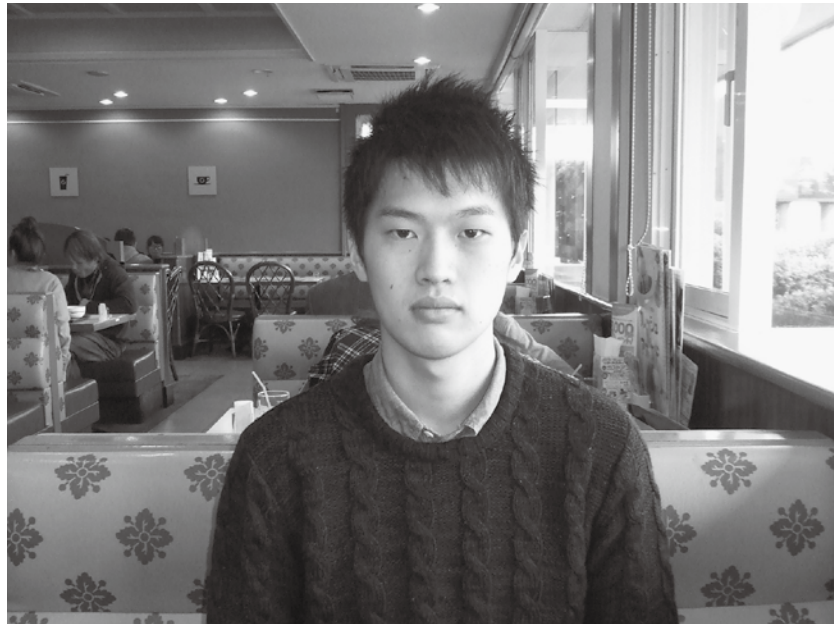
被災以降、勤務先は休業状態となっていますが、定期的に全員で集まっています。会社勤めをしながらの消防団活動ができたのも勤務先の協力や理解があったからこそぞだと思っています。

私は当面の生活拠点をいわき市内に構えることを決めました。会社勤めの傍ら続けてきた農業の経験を生かして、近所の皆さんとの交流も積極的に行うようにしています。故郷を恋しく思う気持ちに変わりはありませんが、しばらくはこちらから故郷を見守っていきたいと思います。



東京都 世田谷区

たなか こうだい
田中 広大さん



自宅は大和久区。被災当時は磐城桜が丘高校2年生で野球部に所属していた。

現在、東京都市大学工学部原子力安全工学科に在籍。原発事故収束の一助になりたいという希望を胸に、勉強を続けている。

4年前の3月11日、朝起きてから大野駅で列車に乗るまでの間が、私にとつて平穏に故郷で過ごした最後の時間となってしまいました。大地震と津波により帰宅手段が断たれた上、原発の非常事態や避難指示により大熊に近づくことができなくなりました。そのため、数日間、学校で過ごした後、幹線道路が通行できない中、母親が迎えに来たため、田村市内の避難所に向かいました。その後、新潟県内にある父の実家にお世話になりましたが、4月初旬には、学校の授業再開に合わせて、家族とともにいわき市内のアパートで生活し始めました。

3年生の新学期が始まり、本格的に大学受験の準備が始まりました。今日の大学受験では、自分がどの大学に行きたくて何をしたいかというより、自分の成績で入れる学校が事実上の志望校になってしまうケースが少なくありません。しかし、私の場合、避難後にマスコミ等を通して知ったメルトダウンをはじめとする原発事故の深刻な状況に、「第一原発を何とかしなければ、故郷と復興は遠のいたままになってしまう」という思いを強く抱くようになり、原子力に関する学部・学科のある大学を志望しました。

震災以前、原子力分野はそれが属する物理学領域でも「花形」とされ、最先端技術の象徴的存在とみられていましたが、

原発事故を境に世間の印象はすっかり変わってしまいました。しかし、今や地球的課題になっていく原発事故の収束を実現するのも原子力工学が中心であることには変わりないという確信を持ち、家族も応援してくれたため、今の学校を受験したところ、合格しました。大学の先生からは「この状況の中、被災地からよく志してくれた」と声をかけられることもありました。

入学後、本格的に原子力について勉強する中で、数々の気づきを得ることができました。特に思ったことは、放射能や放射線に関する知識さえあれば、必要以上の心配や警戒は避けられるのではないかと思います。大学の活動で川内村を訪問した時、住民の皆さんに放射能や放射線に関する知識をより広めることさえできれば、住民の帰還や農業の再開がより進むのではないかと思います。その一方、知識レベルの「安全」が、人間（感情）レベルの「安心」に直結するとは限らないという厳しい現実の存在も強く感じています。

この春、私は大学4年生になり就職活動中です。就職難の時代が終わって売り手市場で、数多くの就職先があることは事実ですが、私の場合、これまで勉強してきたことを生かして故郷復興に少しでも関わっていける職業に就きたいと思っています。



福島県 会津若松市

さいとう はるか
齋藤 遥さん

大熊中学校3年生

自宅は熊3区。被災当時は熊町小学校4年生。

現在、会津若松市内の借り上げ住宅で家族と生活しているが、避難指示により町を離れ、しばらく身を寄せた避難所での経験が、将来への目標につながりつつある。



避難指示により町を離れるまで、平日、学校の授業が終わると、特に用事がない限り、熊町児童館で夕方まで友達と楽しく過ごし帰宅するという生活でした。大地震に遭った時、私は下校まで熊町小学校の校内にいました。大きな揺れが収まった後、学校に残っていた児童は校庭に集まり、私のように児童館に通っていた児童は、同館に移り、家族の迎えを待ちました。時間が経つとともに、一人また一人と家族と共に帰宅していき、私一人だけになってしまい、児童館で私たちの面倒を見てくれていた千恵子先生(※)が自宅まで送ってくれることになりましたが、途中、道路が壊れていたため、役場に向かい、消防団の方にポンプ車で自宅近くまで連れていってもらいました。私は、父が電力関係、母は町外の金融機関で働いていたため、大地震で大変な中、私を迎えに来るのは難しいだろうなと思っていましたが、自宅に戻って両親と会えた時には安心しました。

震災発生時の翌朝、避難指示により両親と町を離れ、避難所の一つになっていた旧・石森小学校(田村市船引町)でお世話になりました。当時、私はまだ小学校4年生だったため、震災や原発事故について、状況をよく理解できず、いつ帰れるのか、学校や友達はどうなるのかなど大きな不安を感じていました。避難所には、多くの方が

身を寄せ、大熊だけでなく、他の町村から来た方もいました。また、体の不自由な方や、認知症の高齢者の方もいました。

避難所では、段ボールや荷物で仕切られただけの中で生活していました。ある日、認知症のお年寄りが私たちのところに迷い込んで来てしまいました。間違えて来てしまったとはいえ、私たち家族は認知症の方にどう接していいのか分かりません。その時、私たちの前を通りかかった看護師の女性がその状況に気づき、周囲の人々の気分を害することなく、手際良く、そのお年寄りをご家族のもとに連れて行ってくれました。その女性がとつた行動は、まるで魔法使いのように思えるほどで、「この人はすごいな」と心を動かされました。将来、お年寄りの生活支援などに関わる仕事に就けたらいいなと思うようになりました。

この春、中学校3年生になりました。町を離れてからあつという間に時間だけが過ぎたなと感じています。中学校卒業後の進路を考えなければならぬ時期に入りました。まだはつきりどの高校に進むか分かりませんが、避難所での経験で思った福祉関係に進みたいという希望を叶えられるような選択をしたいと思っています。

※渡部千恵子さん(現・NPO法人ふさと応援隊理事長)

5月、6月の一時立入り

一時立入りを実施する際には事前予約が必要となりますので、実施スケジュールをご確認のうえ、コールセンターへお電話でお申し込みください。

(平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。)

※上期（4～9月分）の案内文書は各世帯主様へ個別に発送しております。

※実施スケジュールや最新の予約状況は、専用HP(<http://www.ichijitachiiri.com>)でご覧いただけます。

※立入り当日は必ず中継基地で受付を行ってください。中継基地にて、通行証、個人線量計、防護装備等をお渡します。

※お帰りの際には、中継基地にこれらを返却していただくとともに、スクリーニングを受けていただきます。

なお、マイカーによる立入りは、**立入り希望日前日の20：00まで**にお申し込みください。**(予約がない方の立入りは認められません。)**また、立入り日当日の受付はできかねます。

また、バスによる立入りは、各月のバス立入り初日の1か月前までにお申し込みください。

【一時立入り受付コールセンター】

●電話番号：**0120-025-161（フリーダイヤル）**

●予約受付時間：**平日8:00～20:00、土日・祝日8:00～17:00**

- ・平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。
- ・お盆・お彼岸などは、立入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただくことがあります。専用HP等でご確認ください。
- ・公益一時立入りの受付・お問い合わせは、これまでどおり各市町村にご連絡ください。
- ・資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください。

予約時には問い合わせ番号をお伝えいただくと手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号となっています。

5月、6月の一時立入りスケジュール(マイカー)

一時立入り実施スケジュール【平成27年5月分】

□…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り禁止

月		平成 27 年 5 月																															
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
1	津島活性化センタースクリーニング場																																
2	加倉スクリーニング場																																
3	高瀬スクリーニング場																																
4	中屋敷スクリーニング場																																
5	大川原スクリーニング場																																
6	高津戸スクリーニング場																																
7	毛萱・波倉スクリーニング場																																

一時立入り実施スケジュール【平成27年6月分】

□…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り禁止

月		平成 27 年 5 月																															
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
曜日		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
1	津島活性化センタースクリーニング場																																
2	加倉スクリーニング場																																
3	高瀬スクリーニング場																																
4	中屋敷スクリーニング場																																
5	大川原スクリーニング場																																
6	高津戸スクリーニング場																																
7	毛萱・波倉スクリーニング場																																

一時立入りスケジュール(バス)

2015年度バス立入り年間スケジュール

月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3月	
日		8日	9日	5日	6日	3日	4日	7日	8日	25日	26日	23日	24日	20日	21日	18日	19日	17日	18日
曜日		金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	木	金
津島活性化センタースクリーニング場		浪江町津島地区の世帯の方のみ対応																	
加倉スクリーニング場	浪江町	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯
	双葉町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯
毛萱・波倉スクリーニング場	大熊町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯
	富岡町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯

春のいわきのまちをきれいにする 市民総ぐるみ運動

～いわき市へ避難をされている皆さまへのお願い～

いわき市では、市民一人ひとりが自らの手でまちをきれいにするを通じ、環境美化に対するモラルの向上を図ることを目的とし、毎年2回、市民による清掃活動を実施しております。

つきましては、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、いわき市に避難をされている皆さまにも当運動の趣旨をご理解いただき、お住まいの地区のいわき市住民と一体となった協働作業への積極的な参加をお願いします。

日程

6月5日(金)～7日(日) ※雨天の場合は翌週へ延期：6月12日(金)～14日(日)

- ・6月5日(金)：清潔な環境づくりをする日（学校や事業所周辺の清掃）
- ・6月6日(土)：自然を美しくする日（海岸や河川の清掃）
みんなの利用する施設をきれいにする日（公園や道路の清掃）
- ・6月7日(日)：清掃デー（市内の全家庭周辺の清掃）

参加方法

- ①仮設住宅等にお住まいの方が「団体」として参加される場合
実施計画書をいわき市へご提出願います。（詳しくはお問い合わせください）
- ②民間借上住宅等にお住まいの方が「個人」として参加される場合
お住まいの地区の区長や行政嘱託員、隣組長等に清掃参加の意思をお伝えし、地区の住民と一緒に作業していただきます。
なお、地区の都合により作業日が異なりますので、事前に区長等にご確認願います。
また、区長等の代表者が不明な場合は、いわき市までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】いわき市役所生活環境部ごみ減量推進課庶務係

☎0246-22-7559

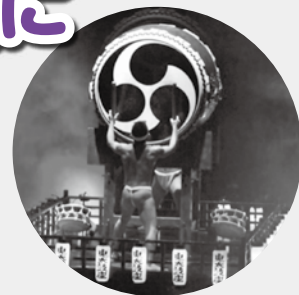
役場敷地に仮設トイレを 設置しました

大熊町役場本庁舎 北側駐車場に仮設トイレを設置しました。
一時帰宅などの際、ご自由にご利用ください。

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 環境対策課



鬼太鼓座・会津風雅堂公演に 無料招待します



6月14日(日)に会津若松市の會津風雅堂で行われる鬼太鼓座の公演「アースミーティングAIZU 2015」に大熊町民が無料招待されました。

鬼太鼓座からのメッセージ

「2012年1月、鬼太鼓座は大熊町文化センターにて公演をさせて頂く予定でした。大変残念なことに、東日本大震災によって大熊町の皆さんと鬼太鼓座の出会いが分断され、いつの日か、大熊町の皆さんに鬼太鼓座の波動をお届けしようという、私達の想いだけが強く強く残っていたのです。

世界に福島現状をお伝えできればという想いと、必ず大熊町の皆さんに鬼太鼓座公演を鑑賞して頂きたいという願いから、2013年会津村内古民家をお借りして、鬼太鼓座合宿所をスタート。いよいよ地元の創作和太鼓集団として、會津風雅堂での公演を2015年6月14日に開催します。

一人でも多くの大熊町の皆さんに鬼太鼓座を体感していただきという気持ちから、入場ご希望の皆様を、先着200名様を無料でご招待させていただきます。鬼太鼓座の想いを全身で受け止めて頂き、その波動を少しでも日々のエネルギーへと昇華して頂ければ幸いです。

3年間の想いを胸に、皆様との出会いを楽しみにしております。」

入場には、無料チケットが必要で、次のとおり配布します。

- | | | |
|----------|----------------|--|
| 日 | 時 | 2015年6月14日(日) 開場午後6時／開演午後6時30分 |
| 会 | 場 | 會津風雅堂(会津若松市城東町12-1) |
| 対 | 象・定員 | 大熊町民200名 ※先着200名に無料チケットを配布致します。 |
| 条 | 件 | ・無料チケットを窓口まで取りに来ることが可能な方。
・当日必ず観覧できる方。 |
| チ | ケット配布方法 | ご来場を希望する方全員の本人確認できる物(免許証、保険証、被災証明書等)を持参のうえ、次の場所でチケットをお受け取りください。 |
| チ | ケット受取り | ・受取期間：5月1日(金)～5月29日(金)
・受取時間：午前8時30分～午後5時(土日、祝祭日を除く)
・受取場所：大熊町役場 会津若松出張所 教育総務課
※チケットがなくなり次第、配布を終了させていただきます。 |
| 主 | 催 | アースミーティングAIZU2015実行委員会 |
| 後 | 援 | 会津若松市、会津若松市教育委員会、大熊町、大熊町教育委員会、福島民報、福島民友新聞社、JR東日本会津若松駅、びゅう會津会、会津商工会議所、福島中央テレビ |

【お問い合わせ先】 鬼太鼓座 ☎0493-81-6411
アースミーティングAIZU2015実行委員会 ☎0242-75-3434
蛭田(担当) ☎090-8785-7691

春季町長杯パークゴルフを開催します

平成27年度春季町長杯パークゴルフ大会が6月5日（金）、北塩原村のグランデコリゾート・パークゴルフ場で開かれます。競技を通じて町民の健康維持と愛好者相互の幅広い交流を図り、併せて東日本大震災と原子力災害からの一日も早い復興の活力となることを目的として開催します。多くの町民の皆さまのご参加をお願いします。

日時

平成27年6月5日（金） 午前8時45分開会式

会場

北塩原グランデコリゾート・パークゴルフ場
（耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山）

※今回、広報に同封した開催要項をもとに
申し込んでください。



【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 教育総務課

第1回 男塾のお知らせです

春の暖かさが心地よい季節となりました。

さて、男性が楽しく集まる場として、男塾を年8回にわたって実施します。内容は町中散策や料理教室などを考えています。第1回は下記の通り鶴ヶ城周辺を散策しますので、是非ご参加ください！
1回のみ参加も可能です。



日時

5月15日（金） 午前9時30分～午前11時30分まで

内容

鶴ヶ城周辺散策 ※雨天決行（雨天の場合は城内散策 入場料410円）

集合場所

ゆっくりすっぺ

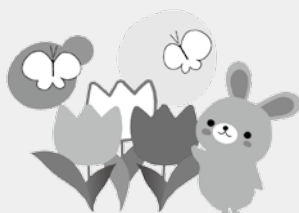
対象者

60歳以上の男性

申込み

問い合わせ先に5月13日まで申込みをお願いします

※定員20人になり次第締め切らせていただきます



【お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 地域包括支援センター
☎0120-26-3844

行政相談委員に佐久間さん ～お気軽にご相談ください～



総務省では、大熊町を担当する行政相談委員として、佐久間国幸さんを委嘱しました。

任期は、平成29年3月31日までです。

電話等で相談をしたい方は、総務課行政係へお問い合わせください。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、役所（国・県・市町村）の仕事やN T Tなどの特殊法人等の仕事について苦情や意見、要望などを受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

◇5月1日から31日までの1カ月間は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。行政相談委員はいつでも相談に応じていますが、このキャンペーン期間中は次の場所で相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。

いわき	日 時	5月22日（金）午前10時～午後3時
	場 所	大熊町役場いわき出張所 1階第1会議室
会 津	日 時	5月26日（火）午前10時30分～午後3時
	場 所	大熊町役場会津若松出張所 2階第4会議室

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 総務課行政係

平成27年春の全国交通安全運動

目 的

本運動は、広く県民に交通安全思想をの普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

期 間

- (1) 平成27年5月11日（月）から20日（水）までの10日間
- (2) 交通事故死ゼロを目指す日 5月20日（水）

運動スローガン

自転車は ルールとマナーが両輪です

運動の重点等

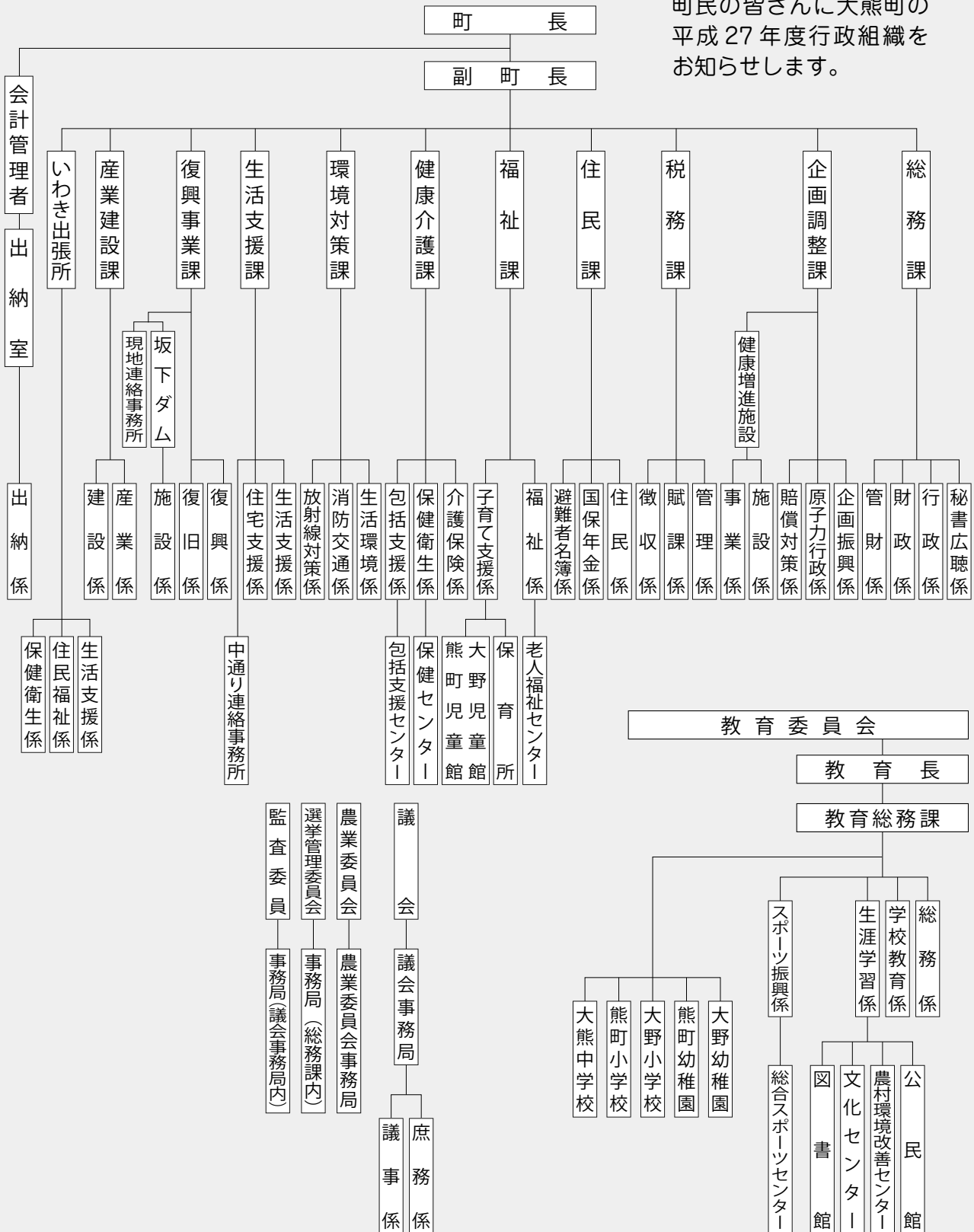
- (1) 運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止
- (2) 重 点
 - ア 自転車の安全利用の推進（特に、福島県自転車安全利用五則の周知徹底）
 - イ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ウ 飲酒運転の根絶

主 唱

福島県、福島県交通対策協議会

大熊町の平成27年行政組織

町民の皆さんに大熊町の平成27年度行政組織をお知らせします。



大熊町職員人事異動

4月1日付（ ）内は旧任 退職は3月31日付

【課長相当職】

- ・ 福祉課長 佐藤恒寿（いわき出張所長）
- ・ 生活支援課長 大波秀和（福島県総務部市町村財政課）
- ・ いわき出張所長 末永清一（福祉課長）
- ・ 住民課主幹兼課長補佐兼住民係長兼避難者名簿係長 渡辺しのぶ（出納室総括主任兼出納係長）
- ・ 環境対策課主幹兼課長補佐兼消防交通係長 武内洋（主幹兼課長補佐兼総務係長兼学校教育係長兼生涯学習係長）
- ・ いわき出張所主幹兼課長補佐兼住民福祉係長 澤原寛（いわき出張所主幹兼課長補佐兼健康介護係長）
- ・ 中通り連絡事務所主幹 志賀直行（中通り連絡事務所総括主任兼生活支援係長）
- ・ 教育総務課主幹兼課長補佐兼総務係長兼生涯学習係長 幾橋みね子（総務課総括主任兼秘書広聴係長）
- ・ 総務課総括主任兼秘書広聴係長 後藤聡子（住民課主任主査）
- ・ 企画調整課総括主任兼企画振興係長 相馬正光（企画調整課主任主査）
- ・ 税務課総括主任兼管理係長 澤田慎一（税務課総括主任兼賦課係長）
- ・ 税務課総括主任兼賦課係長 鈴木裕平（税務課主任主査）
- ・ 健康介護課総括主任兼保健衛生係長 愛場学（福島県後期高齢者医療広域連合）
- ・ 健康介護課総括主任兼包括支援係長兼主任介護支援専門員 佐藤広人（健康介護課主任主査兼主任介護支援専門員）
- ・ 環境対策課総括主任兼生活環境係長 高田吉弘（環境対策課主任主査）
- ・ 環境対策課総括主任兼放射線対策係長 高松宏志（環境対策課主任主査）
- ・ 復興事業課総括主任兼復旧係長 風間真由美（いわき出張所主任主査）
- ・ 産業建設課総括主任兼産業係長 菅野柳子（産業建設課主任主査）
- ・ いわき出張所総括主任兼保健衛生係長兼主任保健師 澤田裕美子（健康介護課総括主任兼保健衛生係長兼主任保健師）
- ・ 中通り連絡事務所総括主任兼生活支援係長 長谷川良平（中通り連絡事務所主任主査）

- ・ 出納室総括主任兼出納係長 佐々木崇裕（出納室主任主査）
- ・ 教育総務課総括主任兼学校教育係長 吉田健一（教育総務課主任主査）

【主任主査】

- ・ 総務課主任主査 國分宏光（生活支援課主任主査）
- ・ 環境対策課主任主査 橋本健（企画調整課主任主査）
- ・ 出納室主任主査 松永智子（教育総務課主任主査）

【主査】

- ・ 総務課主査 佐久間佳代子（企画調整課主査）
- ・ 企画調整課主査 斉藤陽介（教育総務課主査）
- ・ 住民課主査 松岡克己（税務課主査）

【主事】

- ・ いわき出張所主事 井戸川聖（福祉課主事）
- ・ 教育総務課主事 雨木志津子（環境対策課主事）

【派遣出向】

- ・ 大熊町社会福祉協議会 根本豊稔（住民課主幹兼課長補佐兼住民係長兼避難者名簿係長）
- ・ いわき市玉露保育所 遠藤友美（健康介護課主査）
- ・ 福島県総務部市町村総室 志賀堯（総務課主査）

【新採用】

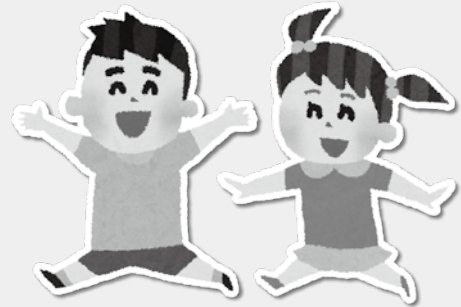
- ・ 税務課主事 泉田亜希子
- ・ 福祉課主事補 長谷川すず
- ・ 健康介護課副主任保健師 大澤貴志
- ・ 健康介護課主事 荒木紀幸
- ・ 健康介護課主事 益子匠
- ・ 環境対策課主事 富塚彩
- ・ 生活支援課主事 猪狩悠希
- ・ 教育総務課主事 渡部友彦
- ・ 教育総務課学芸員 成田裕
- ・ 環境対策課総括主任兼放射線対策係長 山本良和
- ・ 復興事業課総括主任兼復旧係長 坂本英二
- ・ 住民課主査 大川原智史

【退職】

- ・ 環境対策課総括主任兼放射線対策係長 山本良和
- ・ 復興事業課総括主任兼復旧係長 坂本英二
- ・ 住民課主査 大川原智史

おおくまワンダーランド 会員募集中です

おおくまワンダーランドは、大熊町の小中学生及びその保護者を対象とした生涯学習団体です。6月からの活動を予定しており、現在会員を募集しています。会費300円（保険代）を納めていただき会員となれば、自然遊びや他町村との交流事業など様々な体験活動に参加できます。



まずはいわき市を中心とした活動になりますが、中通り、会津にお住まいの方でも参加可能です。保護者も含めた交流の場としていきたいと考えておりますので、ふるってご参加下さい。

<平成27年度事業予定>

○6月：開講式とBBQ

- ・いわき出張所に集合しバスで小野に移動後、開講式と総会を同時開催した後、BBQを楽しみ親睦を深める

○8月：檜枝岐村との交流事業

- ・フレンドリー教室(会津若松市に住む大熊町の子ども達)と合同で開催。檜枝岐村で行われる「真夏の雪祭り」に参加。その他尾瀬散策やイワナのつかみ取りなどを楽しむ

○10月：芋煮会

- ・自分で作って自分で食べる。親子で野外料理に挑戦し絆を深める

○1月：いなぼつけorリクエスト企画

- ・お餅をついて「いなぼつけ」を作る。もしくは会員からのリクエストに沿ったイベントを実施する

○3月：閉講式

※参加人数などによって予定を変更する場合がありますのでご了承下さい。

【お申し込み・お問い合わせ先】大熊町教育委員会 社会教育指導員 酒井
☎0246-38-5423

保健だより

【お申し込み・お問い合わせ先】
大熊町役場いわき出張所
保健師／看護師
☎0120-26-5671

いわき出張所 各種催しのご案内

子育てひろば

- 日にち** 5月13日(水)、26日(火)
時間 午前9時30分～正午
場所 いわき出張所 2階
対象 未就学児とその親(祖父母も大歓迎)、子育て中の親
内容 自由遊び、ダンス、手作りおやつ等
*乳児の身長・体重測定、育児相談、栄養相談・離乳食の相談できます。
申込み 不要

26日は
絵本の読み聞かせと
ママカフェ(AGF コーヒー)が
あります♪



シルバークッキング

人生、銀色(シルバー)のように淡く輝きたい!
喋って・つくって・食べて元気になる

- 日にち** 5月28日(木)
時間 午前10時開始～午後1時終了予定
場所 常磐共同ガス ガスワンキッチンスタジオ「ステラ」
いわき市常磐湯本町日渡74-7
*駐車場有
☎0120-43-3148
内容 あっさり肉料理と野菜たっぷりの献立
対象 定員10人(年令、性別問わず誰でも参加可能)
申込み 電話または来所にて
参加費 無料
持ち物 エプロン、三角巾など

平成27年度健康づくり講座 運動編 さびないカラダづくり

～肩こりや腰痛、運動不足を感じている方、
更年期でお悩みの方などにお勧めです～

- 日時** 5月22日(金)スタート! 毎月1回実施します。
午前10時～11時30分
会場 大熊町役場いわき出張所
2階コミュニティホール
対象者 定員15人 誰でも参加可能
申込み 電話または来所にて
講師 Jヴィレッジフィットネスクラブ
持ち物 動きやすい服装と室内履き、水分

カラダを動かして
気分をリフレッシュしませんか?
初回は筋肉のバランスなど
身体のチェックもできます

教えておおちゃん

放射性物質



平成23年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故による避難生活も5年目を迎え、不自由な生活を強いられている町民の皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

大熊町は人口の96%が住んでいた地域が帰還困難区域に指定された一方、本格除染が行われた居住制限区域の大川原地区、避難指示解除準備区域の中屋敷地区は帰還への道筋が見えてきました。しかし、大川原、中屋敷の両地区でも森林は除染されておらず、汚染の状況調査も十分とは言えません。

ここで現状を再確認し、町民の皆さまが放射性物質から身を守るための情報をお伝えしていきたいと思えます。正しい知識を身につけていただき、放射性物質に対する不安を少しでも和らげることができれば幸いです。

1・放射性物質について

放射性物質から発せられる放射線は、人間の五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）で感じることはできません。このため、特別な測定器を使用しないと、放射線量やどのような種類の放射性物質があるかを確認することはできません。

原発事故で周辺地域に飛散した放射性物質のうち、屋外にあった放射性物質は、風雨の影響などで移動しました。このため、ある地点が周囲より低い数値を示したり、逆にくぼみなどに大量の放射性物質が集まって線量が高くなる、いわゆる「ホットスポット」ができたりすることがあります。

繰り返しになりますが、放射線は五感で感じることはできないので、そこに「放射性物質があるかもしれない」と予測して対応することが必要です。

屋内は屋外より放射性物質の濃度が低いと思われませんが、風雨による移動がないので、屋内にあるほこりなどには放射性物質が残っている場合があります。

ここがポイント

原発事故で広範囲に飛散した放射性物質は、どこにどのように分布しているかを正確に知ることは困難です。放射性物質は屋内、屋外を問わず存在しており、物品の表面には放射性物質が付着しているものとして取り扱って下さい。特に物品を持ち出す際には、ほこり等を取り除いてから持ち出すことが重要です。



梨の実サロン平



電話：0246-38-3236

住所：いわき市平字新田前 6-10

開所時間：平日 9:30~16:30

定休日：土・日・祝日

みんなで遊びに来てね！

5月行事予定表

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 休館日
3 休館日	4 休館日	5 休館日	6 休館日	7	8 健康相談 (保健師) 10:00~11:30	9 休館日
					申し込み不要	
10 休館日	11 健康セミナー (薬剤師) 13:30~15:30	12 健康体操 10:00~	13	14 お肌のお手入れ 10:00~14:00	15 ☆ 味の素料理教室 10:00~13:00	16 休館日
	申し込み不要	申し込み不要		申し込み不要 (1人30分程度)	申し込み必要 13日締め切り	
17 休館日	18	19 若返りの日 10:00~	20	21 民謡を唄おう 10:00~	22	23 休館日
		申し込み不要		申し込み不要		
24 休館日	25 カラオケ♪ 13:30~	26 健康体操 10:00~	27 コーヒー教室 10:00~	28 お肌のお手入れ 10:00~14:00	29 持ち寄り昼食会 11:00~ お弁当ご持参下さい	30 休館日 31
	申し込み不要	申し込み不要	申し込み不要		申し込み不要	

★印は事前申し込みが必要です！

イベント一週間前までにお電話

もしくはサロンにて直接お申し込み下さい。

イベント詳細・サロン地図は裏面へ！

5月15日(金)

味の素料理教室

10:00~13:00

定員:20名

★事前申し込み必要★

持ち物:エプロン・三角巾

参加費:無料



会津若松市

大熊町のママさんサークル ママだってやってみ隊!

～次回イベントご案内～

- ◆日 時 5月19日(火)
午前10時～正午
- ◆会 場 一箕町長原地区仮設住宅
南集会所(会津若松市)
- ◆内 容 アーティシャルフラワーづくり
- ◆費 用 1,000円

【お申し込み・お問い合わせ先】
090-6259-7933(阿部)
※平日午前10時～午後5時受付

会津若松市

おおくま町会津会

借り上げ住宅自治会「おおくま町会津会」は借り上げ住宅に避難されている町民の皆さまのための交流会を毎月第1、第3水曜日に開催しています。お気軽にご参加ください。

- ◆5月の開催日(両日とも午前10時から)
 - ・13日(水) 小法師づくり
 - ・20日(水) 交流会
- ◆場 所 おおくまサロン「ゆっくりすっぺ」(会津若松市)
- ◆内 容 町民同士の交流、情報交換など
※随時会員を募集しています。

【お申し込み・お問い合わせ先】
090-7078-2327(山本)

県北地方

こらんしょ大熊

県北地方避難者交流会「こらんしょ大熊」では、福島市や伊達市等に避難されている町民の皆さまの、交流会へのご参加をお待ちしています。

- ◆日 時 (毎月第1・第3土曜日)
今回はゴールデンウィークのため5月2日は休み、5月16日のみの開催となります。
- ◆場 所 旧佐久間邸
〒960-2154 福島県福島市佐倉下加藤7-6
☎024-546-3948

【お申し込み・お問い合わせ先】
代表 菅野充史 ☎090-7233-1148

いわき市

すまいるサロン

いわき市内に避難している皆さん!お茶会「すまいるサロン」を開催します。町民であればどなたでもご参加いただけます。初めての方は、ご連絡いただければ幸いです。

- ◆日 時 5月19日(火)
午前10時～午後3時
※ご都合のよい時間にお出かけください。
- ◆会 場 大熊町役場いわき出張所
2階調理室
- ◆主 催 すまいるサロン
- ◆持ち物 マイカップ、おむすび(昼食)

【お申し込み・お問い合わせ先】
080-1830-5567(小林)

梨の実サロンでセミナー&お茶会を開きます

「あなたの健康寿命をモット・モットのばすには!!」と題したセミナー&お茶会を5月11日(月)、いわき市の梨の実サロン平で開きます。

管理栄養士によるお食事相談、お薬やサプリメント相談もできます。ぜひご参加ください。

- 日 時 5月11日(月)午後1時30分～3時30分
- 会 場 梨の実サロン平
- 講 師 宮原富士子さん(NPO法人HAP理事長)
- 参加費 無 料

【お問い合わせ先】大熊町梨の実サロン平 ☎0246-38-3236

埼玉県

輪になろう!

ふみ出そう!



ひまわりサロン

- ◆日時 5月21日(木) 午前10:00～
- ・おしゃべりサロン
- ・お楽しみサロン
- 割りばしのクラフトづくりをします
- ◆場所 やすらぎ会館
(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

【お申し込み・お問い合わせ先】

ひまわりの会

☎080-5431-0123 (島田留守電)

茨城県

大熊町避難者コミュニティ 積小為大の会

5月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 5月17日(日)
午前9時30分～正午
- ◆場所 水戸市三の丸市民センター
(水戸市三の丸1-6-60)
- ◆駐車場 市民センターの駐車場をご利用ください。なお、利用可能台数が少ないため、空きがない場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。
- ◆内容 懇談会およびボランティア

【お申し込み・お問い合わせ先】

浅野秀蔵(水戸市) ☎080-1657-7286

Email: syu-senya.takanori@coral.plala.or.jp

野馬形区 総会・懇親会のお知らせ

野馬形区の臨時総会および懇親会を6月27日(土)、いわき市内で開催する予定です。

一泊を予定しており、会場や会費など詳細が決まり次第、5月中にも世帯主の皆さまに「ご案内」を郵送します。

今年から行政区のコミュニティ維持のための補助金を活用できることになりました。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

野馬形区長・土屋繁男 ☎090-3598-8700

集まっぺ!～おおくま体協 バレー部のみんなへ～

元気してますか。震災から4年が過ぎました。やる気満々でバレーをしていた、あのころが懐かしいです。みんなの顔が見たくなって懇親会を計画してみました。老いも若きも、大熊でバレーをしていた方ならどなたでも参加してください。

- ◆日時 6月13日～14日(1泊)
午後3時集合
- ◆場所 かんぼの宿(いわき市平藤間
字柴崎60) ☎0246-39-2670
- ◆会費 15,000円(2次会込み)
- ◆申し込み締め切り 5月15日

【お申し込み・お問い合わせ先】

山本三起子 ☎090-7078-2327



熊1区総会を開きました

3月19日、福島市の飯坂温泉ホテル聚楽で熊1区の総会を開きました。少人数ではありましたが、有意義な時間を共有することができました。和やかな雰囲気の中、散会しました。(熊1区長・佐久間住夫)

タブレットの

くまちゃんねるをみてみよう!!

離れて暮らすあの人の元気な姿や
もしかしたらあなたも映っているかも!?

◎3.11追悼及び復興イベント◎日帰り交流会(偕楽園)

◎梨の実サロン～2月まとめ～ など盛りだくさん!



☆毎週木曜日配信☆



タブレット相談室 : 0800-800-0907

お気軽にお電話ください。通話無料(平日 9:00～17:00)

大熊町の避難状況

○人口及び世帯

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成27年3月31日現在	10,816	3,938
増 減	△ 689	△ 297

●避難先の状況 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

福島県内の主な避難先地域

いわき地域	会津地域	県中地域
4,326人	1,871人	1,191人

福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県	茨城県	東京都
436人	405人	295人

大熊町公式サイト、 ブログ大熊町

を、ご利用ください!

大熊町公式サイト、ブログ大熊町では新着情報や重要なお知らせなどを随時更新しています。ぜひご覧ください。

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>

おくやみ申し上げます

2015年(平成27年)3月

死亡者名	年齢	住所
藤 森 凌 三	101歳	原
泉 澤 チカヨ	90歳	南 平
大 瀧 榮三郎	88歳	向 畑

死亡者名	年齢	住所
青 山 和 人	63歳	東大和久
田 熊 広 道	57歳	中央台

●大熊町関連施設お問い合わせ先●

大熊町役場

●会津若松出張所

(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、健康介護課、環境対策課、生活支援課、産業建設課、出納室、教育総務課、議会事務局)

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

TEL：0120-26-3844 (フリーダイヤル)

FAX：0242-26-3794

●いわき出張所

(生活支援係、住民福祉係、保健衛生係、復興事業課)

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

TEL：0120-26-5671 (フリーダイヤル)

FAX：0246-36-5672

●中通り連絡事務所

〒964-0915 二本松市金色421-10

オフィス・ウインドストリーム1F

TEL：0120-24-1013 (フリーダイヤル)

FAX：0243-24-1259

●現地連絡事務所

〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉125

坂下ダム施設管理事務所内

TEL：0240-32-2318 FAX：0240-32-5460

※現地連絡事務所では大熊町内の防火・防犯、一時立入者の補助業務を行っています。それ以外の業務につきましては、会津若松出張所またはいわき出張所、中通り連絡事務所へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

大熊町コミュニティ支援事務所

●関東事務所 (梨の実スペース)

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-15-4

アイリーセブンコート1F

TEL：048-711-7135

●いわき事務所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

大熊町役場いわき出張所内

TEL：0246-88-9318

大熊中学校

〒965-0003 会津若松市一箕町八幡字門田9-2

TEL：0242-23-7214 FAX：0242-37-7157

大野小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL：0242-75-2350 FAX：0242-75-2352

熊町小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL：0242-76-1821 FAX：0242-76-1822

大熊幼稚園

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中152

TEL：0242-75-3150 FAX：0242-76-1718

大熊町社会福祉協議会

●会津若松出張所

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL：0242-29-5760 FAX：0242-29-5761



町長室から 渡辺 利綱



別れの3月を経て、4月は出会いの季節。町役場も新たな職員を迎え、新しい体制で新年度をスタートさせました。新たに仲間に加わった職員の中には、大熊と直接のゆかりがない方も何人かおられます。その中の一人に「慣れましたか」と尋ねたところ「楽しく仕事をしています」と答えが返ってきて、頼もしく感じるとともに、震災がなければこのような出会いはなかったはずで、これも何かの縁なのかと不思議な気持ちになりました。

先日、ふたば未来学園高の開講式にお邪魔しました。第一期生の子どもたちに先輩はいませんが、みな希望に満ちあふれていて、自分たちが歴史を築くのだという意

出会いの春

気込みを感じました。大熊町立の小中学校や幼稚園でも相次いで入学式、入園式が行われました。新入生の数は、残念ながら減少の一途です。町の子たちは町で責任をもって育てたい。その思いがあるだけでもどかしい思いですが、半面、避難先の地域に根差して新生活を始めようとする子どもたちの姿は、たくましく映ります。

町の未来を託せる若者が少なくなるのは寂しい限りです。しかし、自ら信じた道を進めば誰かのために役立ち、巡り巡ってそれが大熊のためになるかもしれない。マイナスの面ばかり考えてはいけません。新たに仲間に加わってくれた職員の姿をみて、そう考え直しました。

●いわき連絡所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

(大熊町役場いわき出張所内)

TEL：0246-38-8920 FAX：0246-38-8921

●中通り連絡所

〒964-0915 二本松市金色421-10

(大熊町役場中通り連絡事務所2階)

TEL：0243-24-1338 FAX：0243-24-1339

大熊町商工会

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL：0242-29-5770 FAX：0242-29-5771

町立小・中、幼稚園で入学、入園式



熊町小、大野小の合同入学式は4月6日、会津若松市の両校体育館で、大熊中の入学式は同日、会津大短期大学部体育館で行われました。町立幼稚園の入園式も4月10日に同幼稚園で行われました。今年度は幼稚園児が4人、小学生5人、中学生9人が入園、入学しました。式に臨んだ新入生は緊張した表情でしたが、呼名されると元気に返事をしていました。



表紙の写真

4月14日と16日、桜の取材で町内に入りました。14日はあいにくの曇り空でしたが桜は満開、16日は晴天でしたが花は散り始めていました。どれを表紙に使おうか迷い、坂下ダムで撮影した1枚を表紙用に選びました。この面の2枚は14日に三角屋交差点と大野小校庭で撮影したものです。開花状況と天気気に気を配りながら撮影日を決める桜の取材は難しいと、あらためて思いました。来年は今年よりいい写真が撮れるよう、もっと周到に準備します。

